

大学自己評価部会だより

第31号 (平成25年6月)

カリキュラムポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、教育課程の編成・実施方針が明確に定められています。

- (1) 高度の専門性を習得することを目的に、所属分野の講義・演習を実施する。
- (2) 包括的な生命科学および臨床の知識と技術を習得することを目的に、専門領域の枠を超えて講義・演習を実施する。
- (3) 生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論に関する講義・演習を実施する。
- (4) 歯科臨床および研究に応用することを目的に、医工学と連携した講義・演習を実施する。
- (5) 国際性の向上のため、外国語によるプレゼンテーションや論文作成能力を養成する講義・演習を実施する。
- (6) 学内外を問わず多くの分野における高度な専門家による講義・演習を実施する。

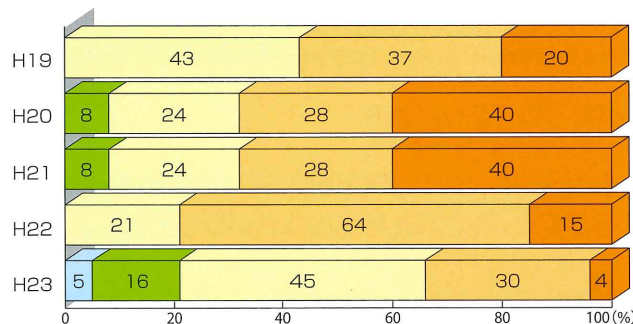
アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成19～23年度の5年間を比較しました。

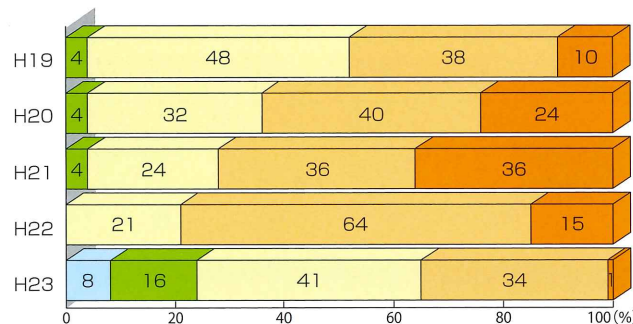
①主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度よりシラバスを作成し、講義・実習の充実を図ってきました。平成22年度と比較して平成23年度は、主科目、副科目・選択科目ともに満足度が大幅に低くなっています。

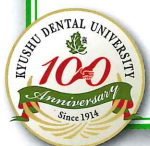
主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度



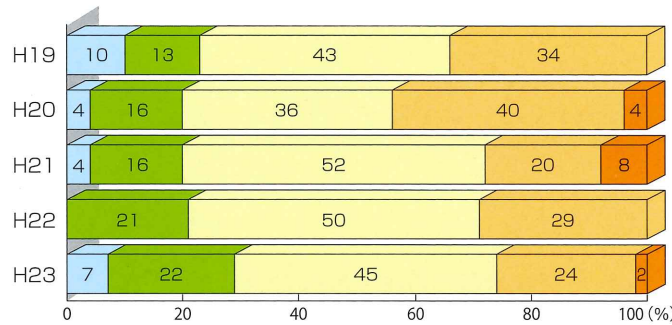
高い
少し高い
普通
少し低い
低い



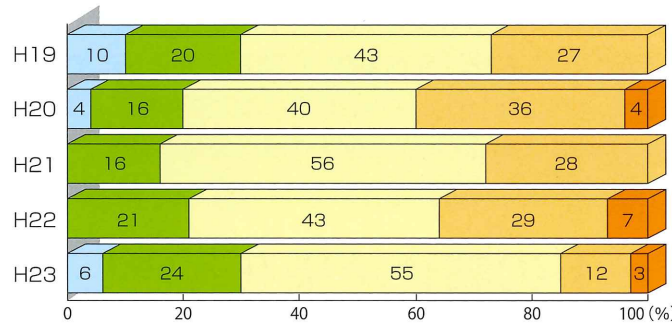
② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の判り易さ、学習相談(研究に関する相談)や助言についての適切さについては、5年間大きな変化は見られません。大学院生のニーズを大学が把握しているかということについては、平成22年度と比較して、「そう思わない」の割合が増加しています。

授業要綱は判り易いですか

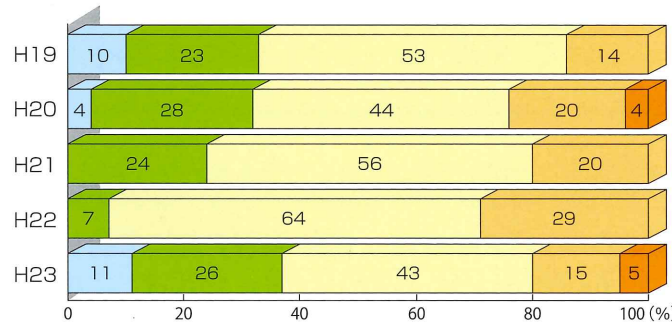


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらともいえない
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

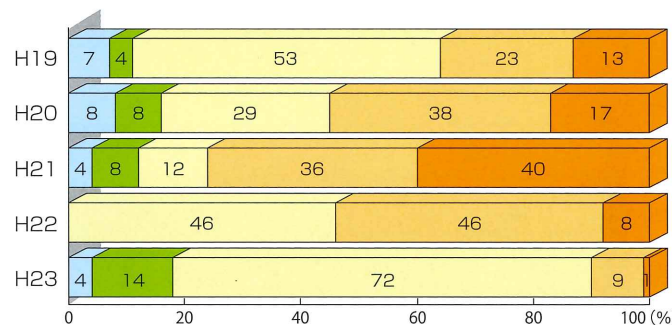
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



③ 研究指導に対する満足度

過去5年間と比較して、研究指導に対する満足度の高い学生の割合が大幅に減少しています。この理由を明らかにし、対応策を考えなければなりません。

現在の研究指導に満足していますか



■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

